

# stock checker

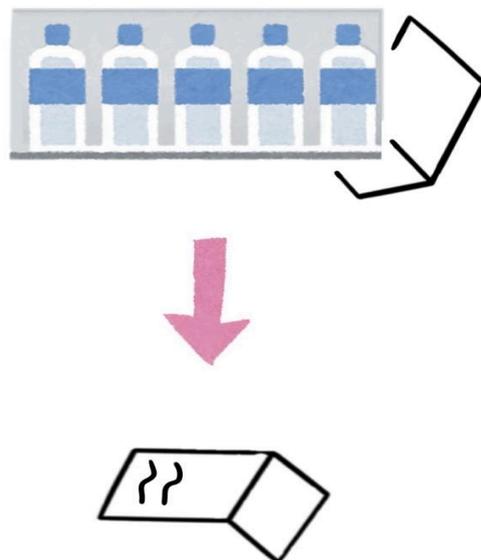
チーム名:light

受付番号:127

## 要旨

みなさんはある商品を目当てにして買い物に行った際、お店に行ってみたら、売ってなかったまたは空き棚はあるが、それがその商品かわからなかった、という経験はありませんか。そこで、あるお店で売られている商品や商品の売られている場所を可視化する「stock checker」というシステムを提案します。

「stock checker」は板のような物を陳列されている商品の1番後ろに設置し、商品がなくなっていくにつれて、押し出されていくようにすることで、商品がなくなり、1番前に来た時に**ひっくり返る**システムです。



## 背景

ある商品が欲しくて、買い物に行ったにも関わらず、その商品がなければ、買い物に行った、私たち消費者がその商品を買えないだけでなく、売り手もし、その場にあれば買ってもらうことが

できた商品が売れず、損してしまうこととなります。これは、売り手・買い手双方にとって悪い結果を生み出していることとなります。そこで、「stock checker」を利用することによって、欲しい商品は近くのお店のどこにあるのか、明確にすることができます。そして、その履歴を店側と共有することによって、店側も買い手が何を欲しいのか、知ることができます。

## 目的

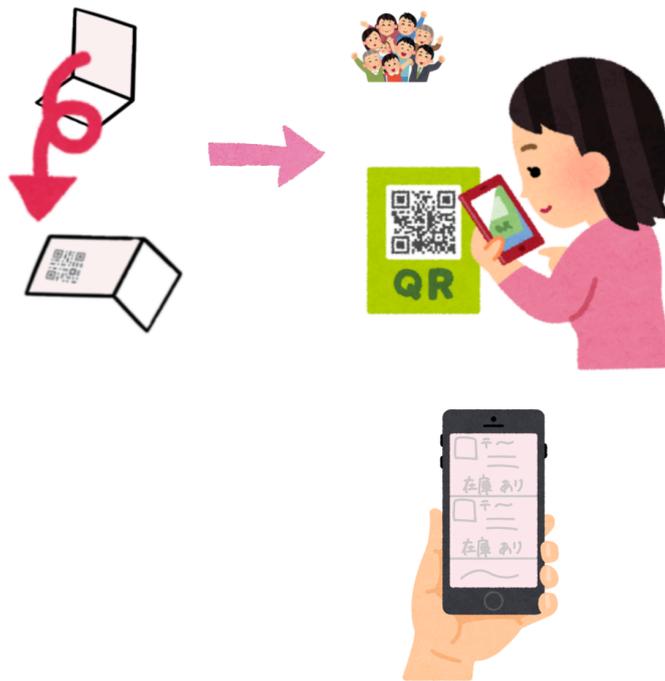
- ・目当てにしていた商品がなく、買えないという事態を防ぐ
- ・もし、そのような事態が起きた場合、近くのお店で買えるようにする
- ・アクセス数からお店側に需要を知らせる

## 概要

stock checkerはひっくり返った(=商品がなくなった)際、お店側に通知が行くことによって、お店側は何の商品がなくなり、補充が必要なのか、在庫管理をすることができます。



同時に、stock checker本体の裏側には、QRコードが商品ごとについており、そのQRコードを読み取ると、それぞれの商品のページに飛ぶことができ、何の商品がないのか、知ることができます。そして、そのページには、それぞれの商品について、近くのどの店舗に在庫があるのかがその店舗の住所や写真と一緒に載っていて、確認することができます。



## ターゲット

- ・自分の欲しい商品がどこにあるか知りたい人
- ・どの商品に需要があるのか知りたいお店の人

お店に欲しい商品がなかった際、利用者はどこにあるのかを知れると同時に、お店の人は、自分のお店のQRコードから商品のページに、どれくらいアクセスされたのかを知ることができるため、自分の店には何の商品が足りないのかを知り、仕入れるなど準備することができます。

## まとめ

stock checkerを用いることによって、買い物に行ったのになかった、という無駄な時間を減らすことができる。またそれだけでなく、在庫管理を行ったり、人々の欲しい物を知ることができたりする。stock checkerによって、皆さんのちょっとしたイライラがなくなることを願っています。